

令和2年2月20日

保護者の皆様

名寄市立名寄東小学校長
野村智明

令和元年度 保護者アンケート及び児童振り返り分析結果と改善策のご報告

残寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動へご理解・ご支援賜り、厚くお礼申し上げます。

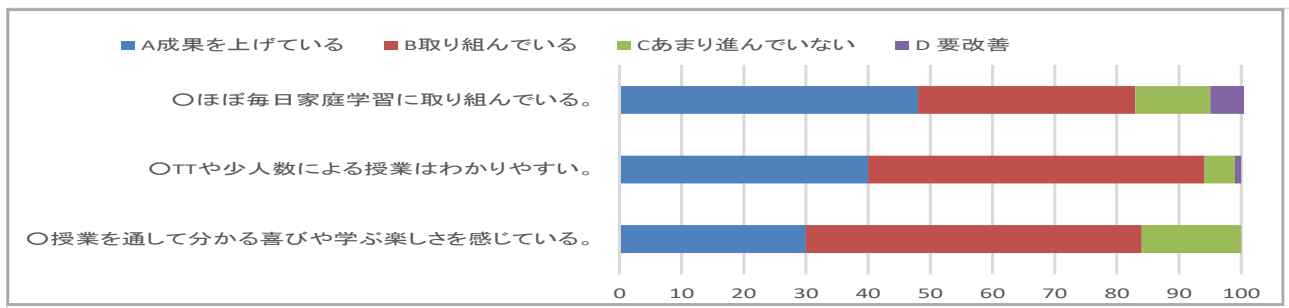
さて、過日実施させていただきました保護者アンケート及び児童の振り返りの集約・分析が整いましたので、ご報告させていただきます。全ての報告ではなく特徴的なものに絞らせていただきました。たくさんの方々にご協力いただき誠にありがとうございました。

学校といたしましては、この結果を踏まえ新年度の教育活動へつなげていく所存ですので、今後ともご支援の程をよろしくお願い申し上げます。併せまして、家庭での過ごし方など各ご家庭にご配慮いただかなければならない面もございますので、ご一読いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

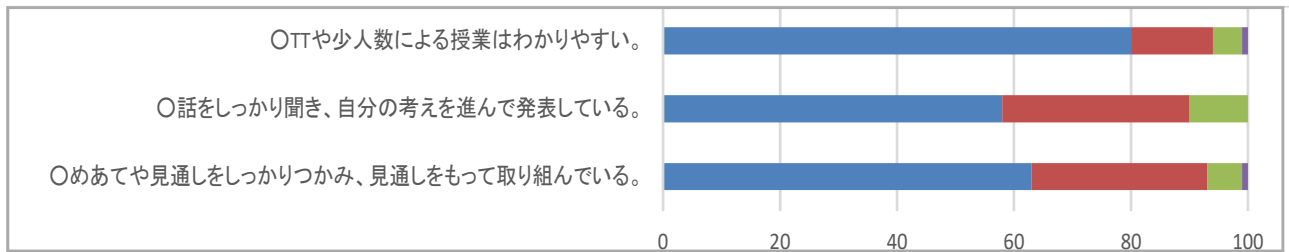
◎学び合い ～重点教育目標1【知】

基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、学び合う子ども

【保護者】



【児童】



肯定的な意見について、保護者の方が A + B が約8割、児童が9割以上と高い数値となっています。学校においても子どもたちが主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を更に推進していきます。

また、基礎的・基本的な内容が定着し、勉強が「わかる」「できた」という感覚が芽生えなければ、自分から率先して学習に取り組む姿勢は育ちません。予習・復習も含め、家庭学習の習慣化を図っていくことが、とても重要になっていきます。



【知】の充実を図る具体策

《基礎・基本の定着》

- ①基礎的な学習の定着を図る繰り返し指導の充実
- ②生きて働く知識・技能を身に付けさせる指導の充実

《個に応じた指導》

- ①複数の教員で指導する体制の充実
- ②学習支援員と連携した指導

《思考力・判断力・表現力の育成》

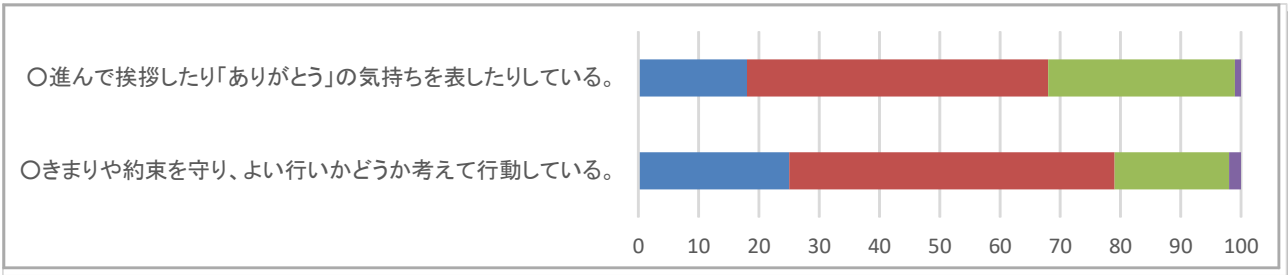
- ①必要な情報を収集し、考えを表現できる指導の充実
- ②自ら問題を解決する学習過程の重視

《家庭学習の習慣》

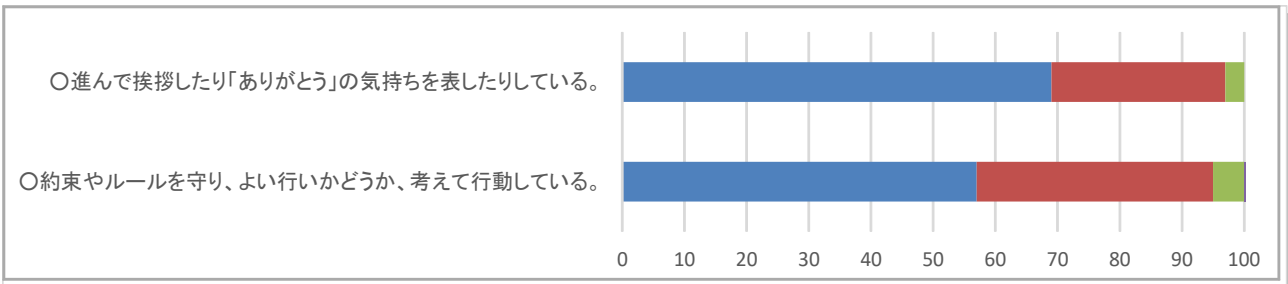
- ①宿題・家庭学習課題の提示と励まし
- ②保護者との教育相談の活用
- ③生活リズムチェックシートの活用

◎認め合い、～重点教育目標2【徳】 他者と良好な関係を築き、自他のよさを認め合う子

【保護者】



【児童】



肯定的な意見について、保護者の方が7割で若干低い数値、児童が約9割で高い数値となっています。学校においても子どもたちはとても落ち着いた生活を送っています。今後も児童会活動や学級活動で全校児童に励行する取組や教職員も率先垂範を意識し、元気のよい挨拶が飛び交う学校を目指します。また、家庭・地域と今まで以上に連携し、目指す子どもの姿を共有しながら、協働して子どもの育ちを支える体制を作っていきたいと思ひます。



【徳】の充実を図る具体策

《道徳教育》

- ①学校の教育活動全体を通じて日常的に行う。
- ②道徳的実践力を育む指導の工夫

《キャリア教育》

- ①各教科等の特質に応じたキャリア教育の充実
- ②学習を振り返り、自己のよさや成長に気付かせる活動

《学級経営》

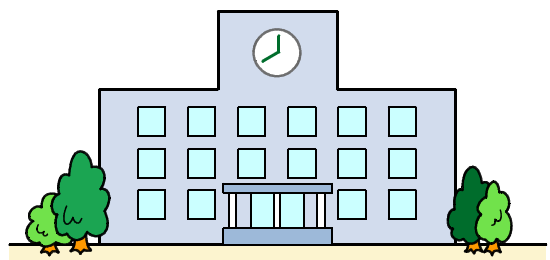
- ①児童の心の居場所となる学級づくり
- ②一人一人が力を発揮できる場の設定

《いじめ防止》

- ①児童会が中心となった自主的ないじめ防止の取組
- ②名寄市いじめ防止サミットへの参加
- ③異学年交流や縦割り班活動

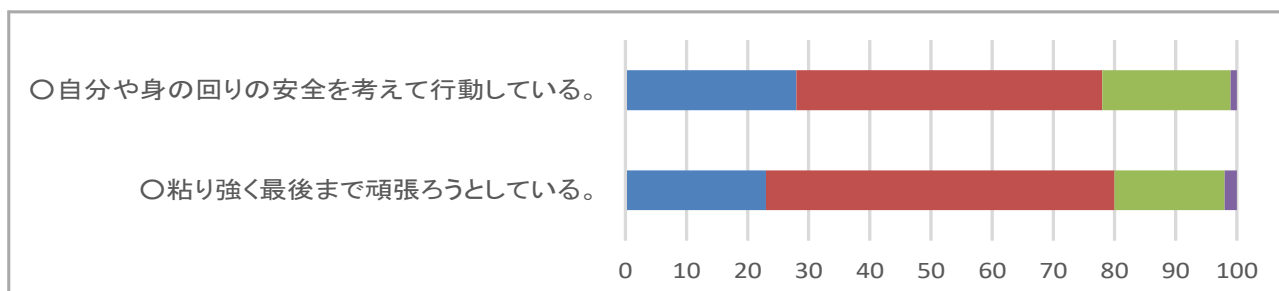
《地域との交流》

- ①コミカレ合同学習、名寄産業高校との連携学習、読書ボランティア読み聞かせ活動の継続・充実

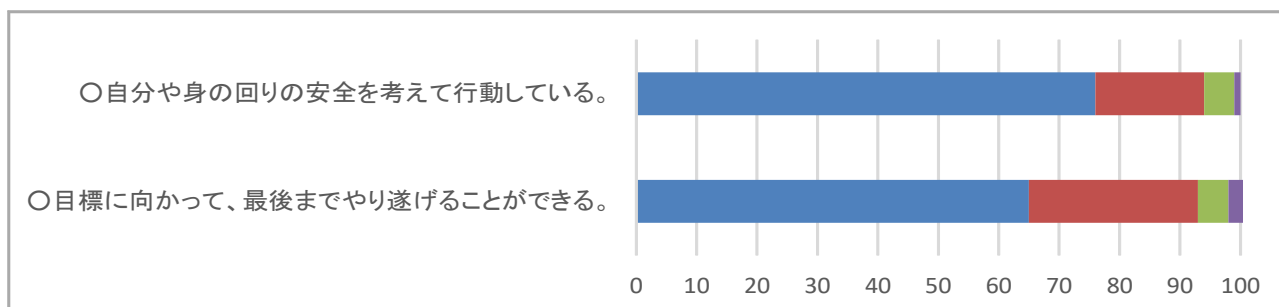


◎高め合い、～重点教育目標3【体】 心身を鍛え、高め合う子ども

【保護者】



【児童】



保護者の方が約8割，児童が9割と肯定的な意見が多くなっています。校内外の事故等から自らを守る能力や態度を身に付けさせる安全指導を充実させるとともに，家庭や地域と一体となった事故の未然防止体制を推進していきます。

また，「マチコミメール」の100%の導入を目指し，働きかけを進めるとともに今まで以上に迅速で正確な情報を共有し，子どもたちを見守る体制づくりを強化していきます。



【体】の充実を図る具体策

《体力づくり》

- ①運動の生活化，全校的な体力づくりの取組の充実（マラソン，縄跳び）
- ②体力テストの結果を踏まえた体育授業の改善

《健康教育》

- ①健康の保持増進を図る保健指導や保健学習の充実
- ②健康・安全意識の高揚と危険回避能力の育成

《安全指導》

- ① PTA，安心会議・交通指導員の方と連携した通学路安全マップの更新

《基本的生活習慣》

- ①インターネット・モラル教室の継続実施
- ②家庭との連携の強化

◎次年度に向けて

学校では，一人一人の子どもに目を向け，全教職員間で共通理解を図りながら，個性を伸ばす取組を目指します。また，危機管理の面においても普段の学校生活の様子や体調の連絡等，保護者の皆さまとの連携を密にしていきながら子どもたちを支援していきたいと思ひます。

来年度から始まる新しい学習指導要領では，これまで大切にしてきた，「生きる力」を育む教育活動に加え，社会の変化を見据えた新たな学び，「社会に開かれた教育課程」の実現を目指しています。子どもたちの「生きる力」を育むためには，学校での学びを日常生活に活用したり，ご家庭での経験を学校生活に生かしたりすることがとても大切です。保護者の皆さまの働きかけが子どもたちの「生きる力」を育む大きな原動力になります。今後，教育活動を実施することで新たな成果と課題が見つかると思われまひます。保護者の皆さまからもご意見が生まれることがあるかと思ひます。子どもたちのために今後も様々な教育活動に取り組んでまいりますので，ご理解とご協力をお願いいたします。